

令和5年度 第3回富士宮市少子化対策推進本部会議

日 時 令和5年10月6日（金）
午前10時～

場 所 庁議室

次 第

1 開 会

2 本部長あいさつ

3 議 事

(1) 第4回富士宮市少子化対策推進本部幹事会の協議内容について

(2) 新たに実施を検討している少子化対策関連事業について

4 その他

5 閉 会

<添付資料>

- ・ 第4回富士宮市少子化対策推進本部幹事会 議事録・・・・・・・・・・資料1
- ・ 新たに実施を検討している少子化対策関連事業・・・・・・・・・・資料2

令和 5 年度 第 4 回富士宮市少子化対策推進本部幹事会 議事録

日 時：令和 5 年 9 月 22 日（水）午前 10 時～午前 11 時 30 分

場 所：市役所 6 階 620 会議室

出席者：企画戦略課長、地域政策推進室長、企画調整係長、企画戦略課課員
広報広聴係長、工業振興・労政係員、福祉企画係長、子育て支援係長、母子保健係長、学事係長、女性が輝くまちづくり推進室員、地域政策推進員

次 第：

1 開会

2 幹事長（企画戦略課長）挨拶

3 議事

(1) 第 2 回本部会議事録からの振り返り：事務局から説明

(2) 新たに実施を検討している少子化対策関連事業について：事務局から説明

(3) 富士宮市の少子化の現状分析について

少子化対策の施策の検討について（自由討議）

【出会い・結婚支援】

- ・（女性が輝くまちづくり推進室）宮恋について、若い女性の参加者が少ないことから対策を考えているところ。安心して参加してもらうためには、知り合いがいることや自治体が開催することにも意義がある。
- ・（広報課）「宮恋」について、参加資格を現在の 25 歳以上ではなく、もっと若い世代の参加を呼びかけてもよいのではないか。
- ・（学校教育課）テレビで見た情報だが、親がお見合い相手を探すイベントを行っていて面白いと感じた。

【雇用環境】

- ・（商工振興課）アンケート結果の「一人であるのが自由で気楽だから」というのは、裏を返せば仕事が忙しくて「時間に余裕がない」ということに繋がっているのではないかと感じている。時間に余裕が無いがために、休暇日を子供中心の生活になることへのイメージができない、自分のリフレッシュに時間を使いたいということなるのではないか。週休 3 日制を導入するなど、働き方改革も考えなければならない。

【移住・定住】

- ・(健康増進課) 軽井沢では、子どもの人口減対策として保育園留学などで移住者増を達成している。富士宮の自然などの魅力を発信して都会の子どもの一時預りを行うことで子育て環境が良い土地であることをアピールすることも必要ではないか。

【子育て支援】

- ・(子ども未来課) 配布いただいたアンケート結果から認識が変わった。子育てについては、経済的支援が必要であると改めて感じた。子ども医療費無償化など、市民に対してアピールする必要がある。
- ・(子ども未来課) 国から子どもの貧困対策を行うよう通知(国 1/2 負担)があり、子ども子育て計画に貧困対策をどのように入れるか悩んでいる。貧困対策を、どう少子化対策につなげるのか。
- ・(女性が輝くまちづくり推進室) 子ども食堂については、育児の負担軽減だけでなく、母親たちが育児相談をするなど集まれる場所の確保という副次的な意味もある。育児の負担軽減を感じられれば、もしかしたらもう一人産もうという気持ちも出てくるかもしれない。子どもが住みやすいまちだなと感じてもらえれば、将来戻ってきてくれる人も増えるのではないか。
- ・(健康増進課) 母子手帳交付数は過去 1,500 件以上あったが R2 は 701 件、R3 は 705 件、R4 は 642 件、R5 は 600 件を切る予想。若い世代には妊婦ジャケットや子どもとのふれあいなど育児体験をしてもらいたい。

【その他】

- ・(広報課) 高校生議会を対応する中で、子どもを生んだ世帯にお金を出したらどうかの提案もあり、高校生でも将来の子育てに対する経済的な不安を感じている。また、育児に対しても大変そう、楽しそうじゃない、結婚しても夫婦だけでいいなどマイナスのイメージを持っている。
- ・(福祉企画課) 子どもを産んだら 100 万円などの短期的な政策から貧困世帯への経済的支援まで、市としてバランスを取らなければならぬ難しさを感じる。市としてターゲットをどこに絞って取り組んでいくかが大事。
- ・(地域政策推進室) 若者は、将来的なことよりも、今お金がない。結婚や出産などの当事者の立場にならないと情報収集を行わない。それに合わせた情報発信が大切。
また、少子化対策については色々な施策をやらなきゃダメで、同じことをやってもダメなのだと思う。

4 その他
なし

5 閉会

新たに実施を検討している少子化対策関連事業

分野	事業名	内容	財源（補助率等）	担当課
出会い・結婚	出会い・交流応援事業	・出会い交流イベントとして、婚活コーディネーターによる新たな婚活事業を実施する。	地域少子化対策重点推進交付金（国）2/3	女性が輝くまちづくり推進室
	勤労者福祉事業（勤労者の出会い交流促進事業）	・富士宮市勤労者共済会（ハピネスふじやま）の事業に、出会い交流イベントを追加する。 ・中小企業で働く人の出会い交流を促し、勤労者の福利厚生の上をを図る。		商工振興課
	結婚新生活支援事業	・結婚に伴う新生活のスタートに係る居住費、引っ越し費用の補助。 ・新たに、30歳～34歳の世帯への上限額を30万円増額する。	地域少子化対策重点推進交付金（国）2/3	地域政策推進室
産前・産後	産後ケア事業（短期通所型新設、訪問型拡充）	・助産院に通院して2時間程度の短期支援を受けるメニューを追加する。 ・訪問型の回数を拡大する。	国補助 1/2	健康増進課
子育て・育児	子ども医療費完全無償化	・子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、令和6年10月から、18歳未満の児童に対する子ども医療費を完全無償化とする。	県補助 1/2～1/4	子ども未来課
	ふじのみやベビーステーション事業（ソフト事業）	・子育てしやすいまちづくり、子育て世代にやさしいまちづくりをすすめるため、新たに、高校生向け講座を開催する。		女性が輝くまちづくり推進室
	少子化問題に関する情報収集	・市政モニター制度を活用し、少子化問題について、市政モニターから意見を収集する。		広報課

	結婚・出産・子育て情報の効果的な発信	・広報ふじのみや(創宮)で、安心して出産・子育てできるまちを周知する。		広報課
	結婚・出産・子育て情報の効果的な発信	・「宮っ子育てガイド」をゼロ予算で6,000冊発行している。 ・新たに、若者への配布など、より一層の活用を図る。		子ども未来課
雇用環境	父親の育児参画応援事業	・父親の育児参画応援ハンドブックを作成し、育児への父親参画の必要性について広く啓発する。	ふじのくに新・少子化突破展開事業(県)1/2	健康増進課
	UIJターン者就業支援事業(ジョブマッチングサイト事業)	・UIJターン者の就業を促進するため、新たにジョブマッチングサイトを創設する。		商工振興課
移住・定住	移住・定住促進事業	・新たに29歳以下の夫婦に対する移住・定住奨励金を増額(最大200万円)する。 ・若者の移住を促すため、新たなプロモーション事業を実施する。	ふじのくに新・少子化突破展開事業(県)1/2	地域政策推進室
	地域間交流事業	・若者が移住や起業の体験を行うことが出来る場所を開設する。 ・若者が地域の商店主や中小企業経営者、イベントクリエイターなどの様々な人と交流する機会を創出することにより、市内への若者の定住に繋げる。	ふじのくに新・新少子化突破展開事業(県)1/2	地域政策推進室
保育士確保対策	新規卒業者の確保・就業継続支援事業	・保育士人材を安定的に確保するため、保育士確保を目的にしたイベントの開催や出展を行う。		子ども未来課
	保育体制強化事業	・保育士の業務負担を軽減し、離職防止を図るため、保育補助者(清掃業務や給食の配膳など)を雇用する保育所等に補助金を交付する。	保育対策総合支援事業費補助金(国)1/2(県)1/4	子ども未来課

